

『夏休み愛知用水探検ツアー』

水土里ネット愛知用水

平成28年8月17日（水）、東郷町の親子26名を対象に、水源地である牧尾ダムを訪問する「愛知用水探検ツアー」を実施しました。「愛知池の水がどこから来るのか」をテーマに、水源地に感謝するとともに愛知用水を身近に感じてもらうことを目的として行いました。

出発にあたって、水土里ネット愛知用水の近藤理事の挨拶がありました。一行は、バスに揺られ、途中バス車内でのクイズを行い、木曽川の流れを車窓から眺めながら長野県王滝村にある松原スポーツ公園に到着しました。

松原スポーツ公園では、王滝村役場の村おこし推進課より村の説明や長野県西部地震により牧尾ダムへ堆積した土砂を松原スポーツ公園に活用している話をして頂きました。

その後、王滝村職員の指導のもとどんぐり棒パン焼き体験をし、各々パン生地をのばし、棒に巻き付けて炭火で焼きました。親子で協力して、棒パンが焦げないようきつね色に焼き、おいしく頂いていました。

昼食後の空き時間にクイズを実施し、子供達で競い合っていました。

牧尾ダムでは、水資源機構の職員より牧尾ダムの説明を受けました。子供達は写真をとったりしながら、真剣に話を聞いて、見たこともないような施設には興味津々に見入っている様子でした。

子供達が楽しみにしていたボート周遊は、本ツアーでもっとも子供達の笑顔が見られる場面でした。帰りのバスには愛知用水に関連したクイズの正解発表をし、成績上位の子供達に対して景品をプレゼントしたところ嬉しそうに受け取っていました。

ツアー終了後には、参加者にアンケートを実施したところ、全員より「今日の企画は楽しかった」との意見を頂き、今後も愛知用水について親子で学べる機会を作り、水土里ネット愛知用水をPRしていけたらと思います。



王滝村の説明



どんぐり棒パン焼き



記念撮影



牧尾ダム ボート周遊